ワナゲで交流深める きららクラブワナゲ大会が開催

きららクラブ大石田「第20回公式ワナゲ大会」が、10月９日(金)にクロスカルチャープラザ桂桜会館「多目的コート」で行われ、54名が参加しました。

参加者は、ワナゲを通じた交流を楽しみながら、熱戦を繰り広げていました。

大会結果

【団体の部】
優　勝　庚申町Cチーム
準優勝　鷹巣Aチーム
第３位　庚申町Aチーム

【個人の部】
優　勝　佐々木　正子(鷹巣A)
準優勝　池田　茂雄(庚申町A)
第３位　伊藤　幸雄(仲通り)





大石田中の生徒が 環境保全ボランティア活動

大石田中学校生徒のボランティア活動「愛宕の森づくり事業」が、10月９日(金)に愛宕神社敷地内で行われました。

この取り組みは、大石田ゆずり葉の会(矢作善一会長)の協力のもと行われたもので、令和２年から行われ、今年は生徒たちによる植樹を行いました。

生徒たちは、グループに分かれ、木の根を撤去し、植樹を行ったのちに支柱を打ち込みました。

また、この取り組みは、令和８年度緑の環境づくり推進事業の一環として行われたものです。









今野雅信さんが 国税局長納税表彰を受賞

令和８年度の納税表彰において、今野雅信さんが国税局長納税表彰を受賞しました。

今野さんは、山形県青色申告会連合会の監事、北村山青色申告会連合会の副会長、大石田町青色申告会の会長を務め、永年にわたり申告納税制度の普及や納税意識の向上に尽力されています。

今回の受賞は、こうした税務関係団体での活動や、適正な申告と納税の推進に対する功績が認められたものです。

大変おめでとうございます。



唄い継がれる最上川舟唄 全国から歌い手集う

最上川舟歌全国大会が10月３日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で開催され、全国各地から集まった出場者が伝統ある最上川舟唄を披露しました。

今年で２回目となった本大会では、出場者が最上川を行き交った舟運の歴史や、船頭たちの暮らしに思いを馳せ、それぞれの歌声で舟唄の魅力を表現しました。会場には力強く伸びやかな歌声が響き渡り、観客は一人ひとりの熱唱に聞き入っていました。

一般の部では、木村里美さん（大石田町民謡研究会)が見事優勝を果たしました。



窯から生まれる個性豊かな作品 川前地区で芸工大生と陶芸交流

川前地区で陶芸活動を行っている川前盾窯会(井敬敬一代表)と、地域おこし協力隊の神田光彦隊員、東北芸術工科大学工芸デザイン学科の学生の皆さんによる窯焼きが10月23日(金)から29日(木)にかけて行われました。

今回の窯焼きでは、小中学生の陶芸教室で制作された児童たちの作品や、学生たちの作品などが焼き上げられました。窯を高温に保つためには三日三晩にわたって薪を入れ続ける必要があり、参加者たちは交流を深めながら作業をしていました。

10月29日（木）には、焼きあがった作品が窯から取り出され、参加者たちは作品の出来栄えを喜んでいました。

川前地区ではこうした陶芸文化を守りながら若い世代の創作活動を支える取り組みが続けられています。



聴禽書屋で展示 いけばな小原流みんなの花展を開催

大石田町立歴史民俗資料館の聴禽書屋で10月10日(土)と11日(日)に小原流の花展が開催されました。

小原流は自然の風致景観を器の中に描写する自然盛花、そして西洋の花の色鮮やかさを生かした色彩盛花など、盛花という花型の発表を機に、1895年に創始されました。

会場には小学生のいけばな教室で制作した作品など多くの作品が展示されました。当日は、展示をひと目見るため、町内外から多くの方が訪れていました。